



わなみ

教育目標「心身ともに健康で実践力のある子ども」

学校だより 第4号
令和7年10月10日
新潟市立和納小学校
<http://www.wanow.city-niigata.ed.jp/>
Tel.0256-82-3028 Fax0256-82-5780



チャレンジ！ チェンジ！

校長 大矢 和 憲

夏休み明けの「わなみフェス」を皮切りに、9月は、「稲刈り」「大根の種まき」「読み聞かせ」「和納ふれあいウォークラリー」「脱穀」「マラソン記録会」と、保護者や地域の皆様からたくさんのご協力や応援をいただきました。大変ありがとうございました。「子どもたちのために」「和納小学校のために」という皆様の熱い気持ちに、心から感謝・感激しています。

さて、夏休み明けの全校朝会で、「チャレンジ！チェンジ！」という話をしました。成長や発展には、挑戦することや何かを変えることが必要です。しかしながら、誰でも挑戦することや変えることに不安を感じたり、面倒に思ったりすることがあります。挑戦や変化には勇気が必要なのです。この勇気を出せるように、「チャレンジ！チェンジ！」をみんなの合い言葉にしようと投げかけました。毎日の学校生活や学校行事、家庭や地域での生活で、子どもたちが「チャレンジ！チェンジ！」することを応援します。また、勇気を出して「チャレンジ！チェンジ！」した姿をたくさん見つけて褒めていきます。

早速、先生方も「チャレンジ！チェンジ！」をしています。夏休み期間中から、「個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実に向けた授業づくり」と「ドリルパーク（AIドリル）の活用」について研修を重ね、子どもたちの学力向上を目指して実践しているところです。子ども一人一人の学びに目を向け、一人一人の「学ぶ力」を育んでいきます。

※ 次のページで、具体的に紹介します。

私も先日の「マラソン記録会」で、教員人生で初めて1年生から6年生までの全レースを子どもたちと全力で走る「チャレンジ！チェンジ！」をしました。「途中で足がつって転んだらどうしよう…そうになったらはずかしいなあ…」と、最後までとても不安でした。そして、とても疲れました。無事完走できたら、達成感でいっぱいでした。今更ですが、子どもたちと同じ気持ちや走る苦しさ、目標を達成した喜びを分かち合えた1日でした。

学校は、誰でも「チャレンジ！チェンジ！」できる場所です。

保護者の皆様、地域の皆様にも、「チャレンジ！チェンジ！」を合い言葉に、子どもたちや学校を応援いただけたら幸いです。令和7年度後半もよろしくお願いします。

チャレンジ！



チェンジ！

できない、やらないじゃあ
せいちょうできない、かわれない
まずはチャレンジしてみようよ

やらないいいわけをいうより
やってみるゆうきをだすほうが
よっぽどすばらしいことですよ

令和7年度全国学力・学習状況調査結果と今後の取組について

(文責 校長)

4月17日に、6年生を対象に全国学力・学習状況調査を実施しました。今年度は、国語・算数・理科の3教科と質問紙調査の実施でした。調査結果の分析と、今後の和納小学校の「学力向上」の取組についてお伝えします。

※ 3教科の平均正答率は、いずれも全国及び新潟県・市を下回る結果でした。6年生への教育的配慮から、6年生全体の平均正答率については公表いたしませんことをご了承ください（個人結果票については、9月にお渡ししました）。

【国語】

特に正答率が低かった問題

- ・ 語句と語句との関係の表し方を理解し使うことができるかをみる問題
- ・ 話し手の考えと比較しながら、自分の考えをまとめることができるかをみる問題
- ・ 目的に応じて必要な情報を見つけることができるかをみる問題

【課題】

- 漢字や語句、書き表し方等、国語に関する知識の確実な習得
- 考えを読み解くことや、自分の考えをもつこと
- 目的を理解し、情報を取捨選択したり関連付けたりして考えること



【算数】

特に正答率が低かった問題

- ・ グラフの変化の理由を言葉や数を用いて記述できるかをみる問題
- ・ 面積の求め方や分数について、数や式、言葉を用いて記述できるかをみる問題
- ・ 分数を単位分数のいくつ分としてとらえることができるかをみる問題

【課題】

- 分数や図形、グラフなどの基本的なしくみやきまりの理解
- 計算の仕方や考え方を、数や式、言葉を用いて説明すること



【理科】

特に正答率が低かった問題

- ・ 金属の性質や乾電池のつなぎ方に関する知識が身に付いているかをみる問題
- ・ 顕微鏡を適切に操作する技能が身に付いているかをみる問題
- ・ 差異点や共通点を基に新たな問題を見だし、表現できるかをみる問題

【課題】

- ものの性質やしくみに関する知識及び観察や実験に関する技能の確実な習得
- 結果の分析や比較を通して、問いや考えをもつこと（説明できること）

<今後の取組（全校での取組）>

6年生の学力・学習状況調査と、昨年度のCRT標準学力検査の分析から、和納小学校の子どもたちの「学力向上」を図るために、大きく次の2つが重要だと考えます。

① 「基礎学力の確実な定着」を図ること

② 「調べる（読みとる）・考える・表現する経験」を充実させること

そこで、今後の取組として、全校で次のことを行っています。

→① 「ドリルパーク」（ベネッセ）の活用

子ども自身が、自分の習熟度に合った問題を解いたり（AIドリル）、基礎から応用までの問題にチャレンジしたりしながら、楽しく基礎学力を身に付けていくことができるように、授業や家庭学習等で「ドリルパーク」の活用を推進します。新潟市教育委員会とベネッセの支援を受けて、子どもたちの「学ぶ力」を高めていきます。

→② 『「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実を図る』授業の実践

全学級担任が、上記のテーマで授業実践を考え、授業公開と授業協議を行います。一人一人の学びに目を向け、楽しく力をつけることができる授業を目指します。

1年生 ～生活科「さいてほしいな わたしのはな」「大きく育てサツマイモ」～

生活科の学習でアサガオの花を育てました。5月に種をまいて、それから毎日お世話しました。「たくさん咲いてね」と優しく声を掛けながら水やりをしていると、それに応えるようにアサガオもどんどん生長しました。6月には、伸びたツルが巻き付くための支柱を立てました。夏休み前には花が咲き始めて、「今日は3個も咲いてた!」「明日も咲きそうな蕾があったよ」と子どもたちが嬉しそうに報告してくれました。



5月に、農村アドバイザーの内藤さんに教えてもらいながら、サツマイモを植えました。雑草が生えないようにみんなでマルチを張って、苗植えて「少し斜めに寝かせて植えるといいよ。」というコツを聞いて、気を付けて植えました。保護者ボランティアの方にも手伝ってもらって、上手に植えることができました。大きくなったサツマイモは、もうすぐ収穫する予定です。

2年生 ～生活科「生きものと友だち」「みんながつかうまちのしせつ」～

9月に1・2年生で、校外学習にマリニピア日本海に行ってきました。イルカショーを見たり、ゴマフアザラシの説明を聞いたりしました。昼食後1年生とグループになり、好きな生き物を見学する活動を行いました。

この場面では、1年生と一緒に相談をして、見学に行きました。1年生にやさしく声を掛け、みんなで好きな生き物を見つけて写真を撮ったり、名前を覚えたりしました。他にも「タッチ水槽」に行き、ヒトデや小さいサメを触って、感触を楽しみました。触った後で、手を洗う場所に連れていく姿も見られました。



これらの活動を通して、1年生に優しく声を掛けたり、リーダーシップを発揮したりする2年生の成長がたくさん見られ、充実した校外学習となりました。

3年生 ～大好き和納!「わっしょい、十五夜祭り」～



3年生は、総合的な学習の時間に十五夜祭りについて学習しました。「十五夜祭りって、どんなお祭りなのだろう。」と、祭りを知ることから学習をスタートしました。地域の方に来ていただき、お祭りのことを教えてもらいました。拍子方、花火方、棒遣いなどの祭りの特徴、どんな願いが込められているのかなど、たくさん学ぶことができました。

祭りのことを学んだら、いよいよお神輿作りです。3年生は、子ども神輿の絵を描く大切なお仕事を依頼していただきました。「どんなテーマでかこうかな。」「地域 みんながこの神輿を見て、笑顔になってくれるといいな。」「祭りに込められた願いや西蒲区のよさも絵に入れられるといいね。」などたくさん話し合っ、グループごとに一枚一枚丁寧に描きました。最後にきれいに花を飾って完成です。お祭りで、地域 みんなが笑顔になってくれていたらいいと思います。

4年生 ～生活を支える仕組みを学んでいます!～

6月に社会科「水はどこから」の学習で、信濃川浄水場に行ってきました。川から取り入れた水が、汚れを沈殿して→消毒→ろ過するという過程でどんどんきれいになっていく様子を実際に見ることができました。また、7月の「ごみはどこへ」の学習で



は、鎧淵クリーンセンターの見学に行き、クレーンで大量のごみを運ぶ様子を見たり、環境を守るための工夫を教えていただいたりしました。自分たちの生活がどのような仕組みで支えられているのかを、自分たちの目で見て学習してきました。



5年生 ～ みんなで刈った・運んだ・がんばった! 稲刈り・脱穀体験 ～

まだ暑さが残る9月、稲刈り体験を行いました。泥だらけになって植えた稲の苗が大きく育ち、豊かに実った稲穂たち。鎌を使っての刈り方を教えていただいた子どもたちは、鎌を動かす回数を重ねるごとに上達し、一生懸命に刈り進めました。刈った稲を束ねて結び、はざがけをし、お米を天日干ししました。



本当に頼もしい働きぶりでした。そして、2週間後に脱穀体験を行いました。ちょうどよく乾いた稲穂を、コンバインを使って脱穀しました。あっという間に粃がとれていく様子にびっくりしていました。子どもたちは、この体験を通して手作業による収穫の大変さを実感するとともに、お米を作る農家の方への感謝の気持ちをもつことができたようです。



6年生 ～和納小の頼れるリーダーとして邁進中!～

6年生に進級してからここまで、わなみ班や委員会の活動、学校行事において下級生に気配り・声かけをしながら最高学年の責任を果たしてきた子どもたち。先月のふれあいウォークラリーはこれまでと違う初めての試みでしたが、全校のみんなが安心・安全に楽しめるよう、がんばりました。学校のリーダーとしての成長が心強く、嬉しく感じられます。



そんな6年生は卒業まであと半年となりました。全校のリーダーとしての活躍はもちろんですが、自分たちの学級での時間をこれまで以上に大切に、学級目標の達成をみんなで味わい、喜び合い、巣立ってほしいと願います。定期的に行う学級力アンケートで自分たちの現在地を見つめ、学級目標の達成に向けて何が必要かを考えて実行している子どもたち。毎週のイベント企画、学級会での話し合い、向上プロジェクトの取組など。自分たちで決めた、自分たちでやりたいことを通して、自分たちの成長を実感できるようこれからも歩みを続けていく姿を応援します。失敗しても顔を上げて!!



きっと、卒業の日には、素敵な「28人の花」が咲き誇ることでしょう。

お知らせ

和納小学校卒業生の川上創さん（富岡）より、「朝日写真ニュース」1年分と校内掲示板を寄贈していただきました。掲示板と「朝日写真ニュース」は、わなみホールの入り口近くに掲示してあります。学校にお越しの際にぜひご覧ください。